



横浜市立富岡小学校

学校だより5月号



あいさつを大切に

校長 浅野 修一

すっかり春めいた気候になり、木々の若葉も一斉に芽吹き始め、新緑がまぶしい季節となってきました。テレビからは「今年は3年ぶりに『緊急事態宣言』や『まん延防止等特別措置』が発令されていないゴールデンウィークです。」という声が聞かれます。少しずつですが着実にコロナ明けに向かっていくと信じたいところです。学校としましてもこれまで同様、感染防止対策を継続しながら、できることを増やしていきたいと考えております。その一環として、4月は授業参観と懇談会、5月は運動会と、保護者の皆様がお子様の授業の様子をご覧いただく機会を設けました。また、保護者の皆様から「保護者同士のつながりがもてない。」とのご意見を伺い、今年度は年度当初に懇談会を設定させていただきました。遠足や校外学習など、校外に出での活動も行います。保護者の皆様には、参観の人数制限や校内での感染防止対策へのご協力をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。

新年度も1か月が過ぎ、1年生は入学してからこれまでの間、「エプロン隊」の皆様が、毎日サポートしてくださいました。初めての学校生活をスタートさせた1年生ですが、今では緊張も和らぎ、楽しそうに過ごしている場面を多く見ることができるようになったのも、エプロン隊の皆様のお力添えがあったことが大きいと思います。心から感謝申し上げます。また、6年生も昇降口から1年教室まで送ってあげたり、教室内で1年生の荷物整理やロッカーにランドセルをしまう手伝いをしてくれたりと力を貸してくれました。ありがとうございました。感染防止対策を取りながらではありますが、これからもなるべく6年生と1年生がかかわる場面を多く設定できるようにしていければと思っています。

また、学年が上がり学校生活にも慣れ、交友関係が広がるとともに、活動範囲も広がってきます。学校でも月の安全目標を設定するなど日常的に指導してまいります。ご家庭でも交通安全や防犯の意識などについてお子様にお声かけいただきますようお願い申し上げます。

1日の始まりの朝、子どもたちの明るい笑顔とあいさつに出会うと、さわやかな気持ちになり、心が温まります。にっこりと笑う笑顔というものは、美しいものです。また、笑顔は私たちが社会生活をしていくうえでたいへん大事なものだと思っています。

富岡小学校でも、子どもたちの大きな声と、にっこり笑顔のあいさつは、学校を明るくしてくれています。交わすあいさつは、相手を認めている大切なシグナルです。あいさつが返ってこないと「私のことを気に留めてくれないのかな？」と、不安になります。同様に、「ありがとう。」「どういたしまして。」は互いの行為に対する感謝と敬意を、「行ってらっしゃい。」「行ってきます。」は道中の安全を願う気持ちとそれに対する感謝を、「さようなら。」「また明日。」は今日の別れと明日の希望のやり取りを、それぞれ表しているのではないのでしょうか。これからも、心のコもったあいさつができる富岡の子どもたちでいてくれることを願っています。

明日からいよいよゴールデンウィークが始まります。今年は5月2日（月）と6日（金）が授業日となりますのでまるまる長期連休とはなりません。ぜひこのお休みを有意義に過ごしていただければと思います。あわせて、くれぐれも事故や事件に巻き込まれることのないよう、またコロナ感染防止対策に気を付けていただくなどお子様の健康や安全にご留意いただければと存じます。連休の合間や連休明けに、元気な子どもたちと元気にあいさつできることを楽しみにしています。